

Sumitomo Bakelite

環境活動レポート
2000

 住友ベークライト株式会社

事業概要

住友ベークライトは、今日使用されているプラスチックの中で最も歴史の古い「ベークライト」(フェノール系樹脂)の製造を日本で初めて開始しました。以来、高度な技術力と最新の設備により、日本のプラスチック工業界をリードしています。今や、半導体関連製品、回路製品、工業資材から医療・建材・包装関連製品などに至るまで、幅広い樹脂および樹脂製品を製造・販売しています。

部門別製品名

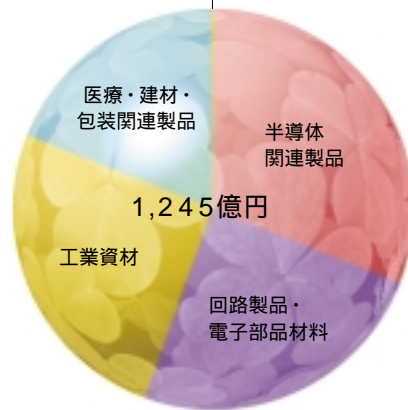
● 半導体関連製品	エポキシ樹脂成形材料 半導体用液状樹脂 半導体実装用キャリアテープ ポリイミド接着テープ
● 回路製品・電子部品材料	エポキシ樹脂銅張積層板 フェノール樹脂銅張積層板 フレキシブル・プリント回路
● 工業資材	フェノール樹脂成形材料 ビニル樹脂成形材料 ユリア・メラミン樹脂接着剤 フェノール樹脂工業用レジン ホルマリン 精密成形品 精密金型
● 医療・建材・包装関連製品	医療用具 医療機器 メラミン樹脂化粧板 ビニル樹脂シート 複合シート

売上高(2000年3月期):

1,245億円(単独)

1,927億円(連結)

その他



目次

ごあいさつ	1
「環境・安全」経営方針	2
環境保全活動の歩み	2
環境管理組織	3
環境マネジメントへの取り組み	4
環境保全活動	5
● 化学物質の適正管理	5
● 廃棄物削減・リサイクル	7
● 省エネルギー	8
● 大気汚染・水質汚濁防止	9
環境対応製品・技術の開発	10
社会とのコミュニケーション	11
住友ベークライトグループ	12
コーポレート・データ	13

ごあいさつ

住友ベークライトは、世界で最初に発明されたプラスチックのフェノール樹脂を日本で初めて工業化して以来、絶えずプラスチックのもつ新しい機能を創造し、その機能を付与した製品の提供を通じて、社会の発展に寄与することを経営理念として今日に至っております。

事業活動にあたっては「環境適合性の高い経営」を基本方針の一つに掲げ、事業活動のあらゆる面で、環境の保全と安全・健康の確保に留意して行動することをめざしてレスポンシブル・ケア活動に取り組んでおります。

レスポンシブル・ケア活動は、研究開発段階から、生産段階はもとより、お客様にご使用いただく工程、さらには使用後の廃棄に至るまで、環境負荷の低減と安全の確保および健康面に配慮することを自主的に進めるものであり、当社は1995年の日本レスポンシブル・ケア協議会設立時から参加しております。

また1998年から環境活動レポートの発行を開始し、当社の環境に対する考え方や活動状況を公表しております。さらに今年は、この環境問題に関する全従業員の認識を深め、本活動の効果をいっそう高めることにより、経営のさらなる発展を期して環境会計を導入することにいたしました。

これからも環境保全のための自主的な活動を積極的に進めてまいりますので、このレポートを通じて皆様に当社の取り組み姿勢と実態をご理解いただきますとともに、今後の活動に向けてご意見、ご指導を賜れば幸いに存じます。

2000年9月

代表取締役社長

守谷恒夫



「環境・安全」 経営方針

住友ベークライトは1997年に「環境・安全」経営方針を定め、国内外の事業所および関係会社における環境・安全・健康の確保をめざす活動の指針としました。

各事業所ではこの方針に沿って活動を展開するとともに、これをベースに各種規程の整備を図るなど、ISO 14001に則ったシステムの構築を進め、全工場でISO 14001の認証取得を完了しました。

「環境・安全」経営方針

● 理念

住友ベークライトは、企業活動のあらゆる面でレスポンス・ケアに取り組み、環境の保全と安全・健康の確保に留意して行動する。

● 方針

1. 研究開発段階より製品の廃棄に至るまで、環境・安全・健康面の評価を行い、環境負荷の最小化、かつ安全な製品・技術の開発に努める。
2. 省資源、省エネルギー、リサイクル、廃棄物の削減に全ての企業活動領域で継続的に取り組む。
3. 従業員及び地区住民の安全・健康を保護するよう操業の安全を管理する。
4. 製品及び輸送の安全確保に努め、顧客等に製品安全情報を提供する。
5. 環境・安全・健康に係わる法律、規則、協定等を遵守し、さらに自主管理規則を制定して環境・安全・健康の確保に努める。
6. 環境・安全監査を実施し、環境・安全管理の維持向上に努める。

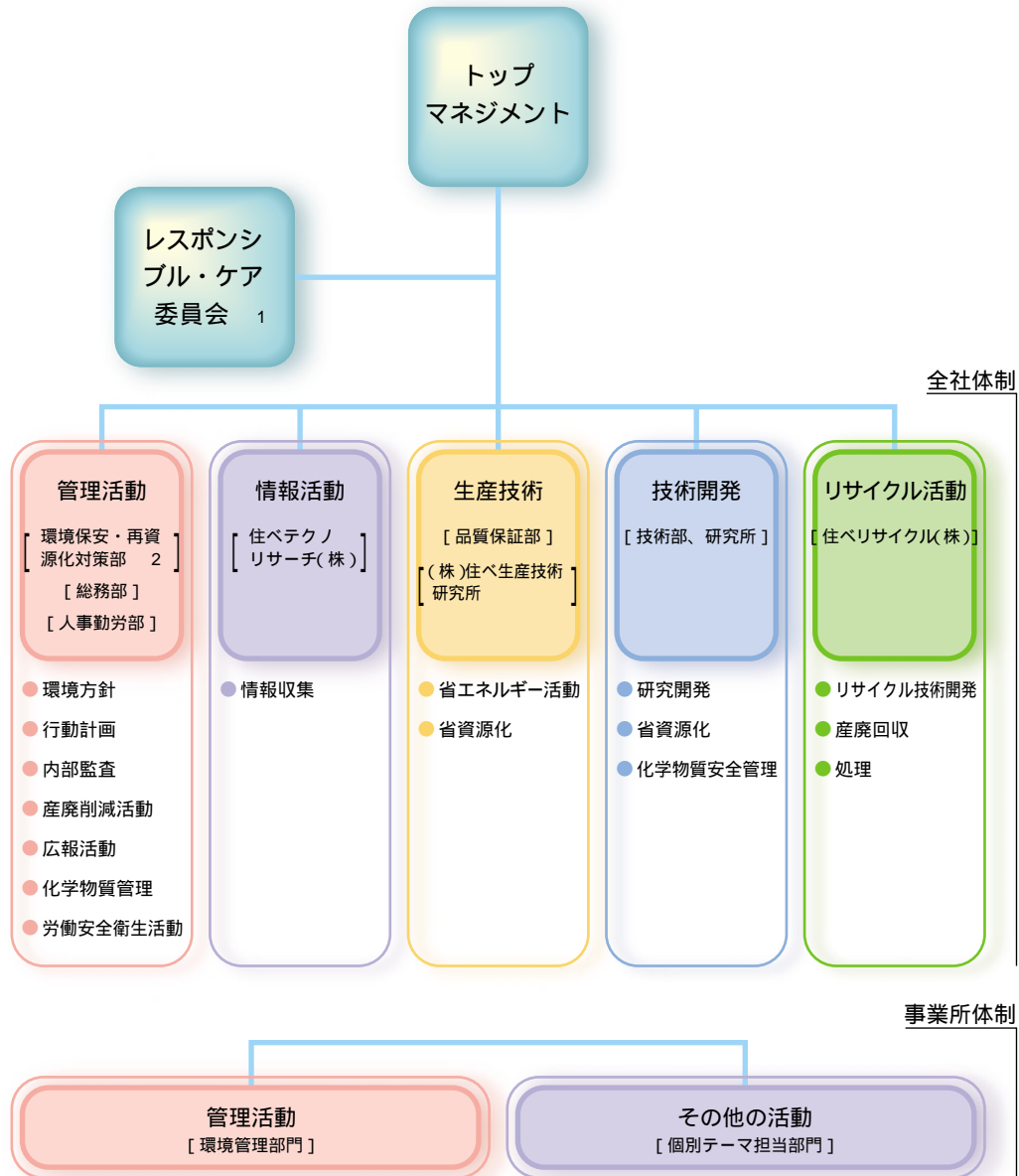
環境保全活動の歩み

- | | |
|-------|---|
| 1969年 | 公害対策事務局を設置
公害関係統括担当者を選任 |
| 1973年 | 環境管理部を設置
国内全事業所の環境監査を開始
(年1回実施) |
| 1974年 | 各事業所に環境管理担当課を設置 |
| 1978年 | 関係会社の環境監査を開始(年1回実施) |
| 1990年 | 環境問題対策委員会を設置
環境・安全担当役員を任命 |
| 1991年 | 再資源化技術対策室を設置 |
| 1992年 | 住ベリサイクル(株)を設立
環境管理部を環境保安部と改称 |
| 1993年 | 環境保安部と再資源化技術対策室を統合し、環境保安・再資源化対策部と改称
環境・安全管理規程を制定
ASEAN諸国内の関係会社の環境監査を開始(3年に1回実施) |
| 1995年 | レスポンス・ケア委員会を設置
日本レスポンス・ケア協議会に設立メンバーとして加盟 |
| 1996年 | 「環境・安全管理規程」を改正
「環境監査規程」を見直し、「環境・安全監査規程」と改称
全事業所でPRTR(環境汚染物質排出・移動登録)を実施 |
| 1997年 | 「環境・安全」経営方針を制定
全事業所にて環境マネジメントシステムを構築する方針を決定
ISO 14001の認証を宇都宮工場と海外関係会社1社が取得
(国内関係会社1社、海外関係会社3社も取得済み。国内4事業所で取得準備中)
全事業所でPRTRを実施 |
| 1998年 | 第一回環境活動レポートを発行
3工場がISO 14001の認証を取得し、全工場が取得完了
さらに国内関係会社2社、海外関係会社2社で取得 |
| 1999年 | 英文版「環境・安全」経営方針を制定 |
| 2000年 | 環境会計を導入 |

環境管理組織

住友ベークライトは、「環境・安全」経営方針に沿って、トップマネジメントのスタッフとしてレスポンシブル・ケア委員会をもうけ、その実行にあたっては本社を中心とした全社体制と、各事業所での類似の組織として、環境管理部門と個別テーマ担当部門による体制で活動しています。

環境管理体制



- 1 レスポンシブル・ケア委員会
会社のレスポンシブル・ケア活動の企画・計画の立案、各事業所での活動の審議・承認を行い活動を推進しています。
- 2 環境保安・再資源化対策部
レスポンシブル・ケア活動の事務局としての活動のほか、各事業所での活動のとりまとめ業務を担当しています。
 - 各事業所の環境の維持・改善と安全の推進のための管理援助
 - 各事業所の環境と安全のレスポンシブル・ケア活動としての内部監査
(国内全事業所は毎年1回、海外事業所は3年に1回実施)
 - 環境ISO 14001認証取得のための支援
 - 化学物質の安全管理、法規制の調査、申請などの対応
 - 社内外でのリサイクル活動の検討、立案

環境マネジメント への取り組み

住友ベークライトは、事業活動のあらゆる面でレスポンシブル・ケアに取り組むことを基本理念としています。環境の保全と安全・健康の確保のため、内部監査、社員教育を実施し、さらに各事業所においてISO 14001に基づく環境マネジメントシステムを構築しています。

レスポンシブル・ケア活動

住友ベークライトは1995年、日本レスポンシブル・ケア協議会に発起人として参加し、事業活動のあらゆる面でレスポンシブル・ケアに取り組むことを宣言しました。

以来、同協議会の定める原則、基準、指針に従って、環境・安全・健康面に関する年次計画や長期計画を立案し実行しています。現在は、MSDS(化学物質等安全データシート)、イエローカード(緊急連絡カード)、PRTR(環境汚染物質排出・移動登録)といった化学物質の安全確保をめざす活動や、ゼロエミッション活動、省エネルギー、技術力を活かしたりサイクルなどを積極的に推進し、環境経営度の向上や資源の有効利用により、循環型社会形成に注力しています。

研究開発段階から、生産、使用、廃棄に至るまで環境や安全性に与える影響を事前評価やデザインレビューにより評価し、当社のみならず顧客、地域において、環境と安全の確保に努めています。



レスポンシブル・ケア

レスポンシブル・ケア(RC)とは

化学物質を製造し、または取り扱う事業者が、自己決定・自己責任の原則に基づき、化学物質の開発から製造、流通、使用、最終消費を経て廃棄に至る全ライフサイクルにわたって「環境・安全」を確保することを経営方針において公約し、環境・安全・健康面の対策を実行し改善を図っていく自主管理活動です。

レスポンシブル・ケアは1984年にカナダ化学品生産者協会によって提唱され、その後、先進国を中心に世界の主要化学企業で導入されるに至りました。日本では(社)日本化学工業協会が中心となって、95年に「日本レスポンシブル・ケア協議会」が設立され、会員各企業がレスポンシブル・ケアに取り組んでいます。

内部監査体制

1973年から毎年、国内全事業所(7事業所)の環境・安全監査を実施しています。

1978年からは、国内の関係会社(8社)も毎年実施しており、1993年からは、アジア地区で生産活動をしている海外関係会社(9社)の監査を3年に一度の頻度で実施しています。

監査内容は、環境・安全に関する法規制への対応状況、自主的対応状況等についての事前調査と、立ち会いによる現場確認を行っており、1995年からは、レスポンシブル・ケア活動によるアンケートと自己採点による評

価を加えて、環境・安全・健康面で問題点の抽出と適正化・改善を行っています。

また、ISO 14001の認証取得事業所では、環境マネジメントシステムに則った内部監査と監査機関による外部監査が行われており、環境対応の仕組みが確実に実行されていることを確認しています。

社員教育

社員教育は、環境・安全の維持向上に不可欠な要素と捉え、化学品安全教育、環境教育、法規制教育、安全作業実習などを年間計画に則り確実に実行しています。

さらに、社外での教育、体験学習などにより環境と安全性の向上に努めています。

写真は、社内集合教育として「化学物質安全管理としての法規制の勉強会」を行っている様子です。



ISO 14001への取り組み

1996年9月、国際標準化機構(ISO)より、環境マネジメントシステムの国際規格、ISO 14001が発行されました。ISO 14001は、企業などが事業活動による環境への負荷の低減をめざして構築した環境マネジメントシステムについて、第三者機関による審査・登録や内部監査の要求事項を定めた規格です。

住友ベークライトは、レスポンシブル・ケア活動の一環として、環境マネジメントシステムの充実を図るため、ISO 14001の認証取得を推進しています。事業所における方針の見直しや文書・規程類の制定・改定、従業員教育体制の整備などに取り組み、宇都宮工場をはじめ、尼崎工場、静岡工場、津工場とすべての生産事業所で取得し、関係会社では住友デュレズ(株)、九州ベークライト工業(株)が取得し、また、海外の生産会社3社でも取得するなど、それぞれ環境マネジメントシステムを構築し、環境負荷低減のための活動を積極的に行っています。

環境保全活動

住友ベークライトはすべての事業活動においてレスポンシブル・ケアを推進するとともに、地域社会との協調のもと、環境の保全と安全・健康の確保に積極的に取り組んでいます。

PDCAサイクル(PLAN:計画立案、DO:行動・実践、CHECK:チェック・是正、ACTION:トップマネジメントによる見直し)をまわして環境負荷低減のために継続的改善を図っています。(6~9ページの環境負荷データは関係会社を含む全社集計値です)

page 5	化学物質の適正管理
page 7	廃棄物削減・リサイクル
page 8	省エネルギー
page 9	大気汚染・水質汚濁防止

化学物質の適正管理

住友ベークライトは化学物質の製造・販売を主要事業としています。化学物質は有用性が高い反面、適正な取り扱いを欠くと、環境・安全・健康にとって有害となるリスクがあります。

化学物質の有害性(ハザード)は、その物質への接触や摂取する量、時期、方法などによりその影響(リスク)は大きく左右されるので、そのリスクに対する理解を深め、使用、輸送、廃棄、さらには事故時の適切な対応を図るために、「MSDS」「イエローカード」により、積極的にハザードやリスク情報を開示しています。

また、PRTRを1996年から実施し、使用量や排出量等を把握することにより環境保全に努めています。有機溶剤の排出については、溶剤を使用しない新規技術の開発と、排出する溶剤の焼却処理をすることなどにより、大幅に削減することを計画しています。

次ページにPRTR法第一種指定化学物質354物質のうち、大気への排出量が年間1トン以上の物質について、全社で集計した排出量の実態と計画目標値を示しました(水域と土壌への排出量は年間1トン以下でほとんど排出されていません)。

土壌への漏洩による排出は、全くないよう細心の注意をもって管理し、有機塩素系溶剤などによる土壌汚染については、全工場と工場跡地も含めて把握しており、すべての結果は基準値以下であることを確認しています。

PCBを用いたコンデンサーなどは、専用の保管庫で確実に保管されており、処理できる時期まで適切に維持管理しています。

さらに、環境ホルモンといわれる外因性内分泌攪乱物質についても、情報収集に努めるとともに、適切な対応への準備を進めています。

● MSDS Material Safety Data Sheet (化学物質等安全データシート)

製品に関する情報を記載したMSDSを製品開発・販売のつど新規に作成し、さらに定期的に見直し・改訂を行っています。労働安全衛生法の改正、PRTR法の制定、毒劇物取締法の改正などによってMSDSの作成が必要になっており、ISO 11014-1およびJIS Z7250のMSDS作成規格に準拠して作成しています。

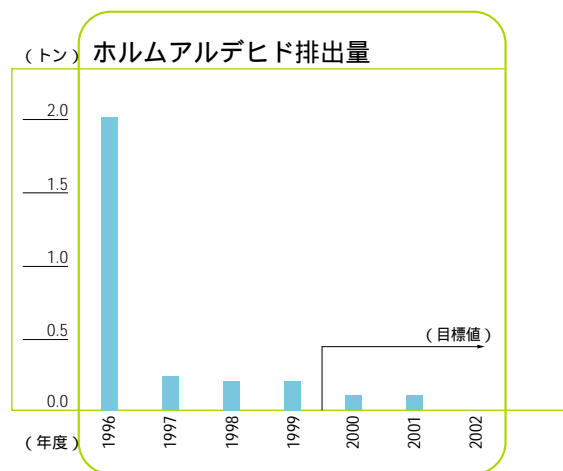
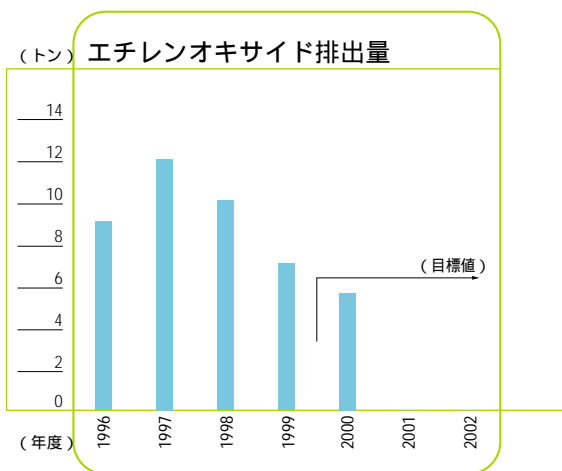
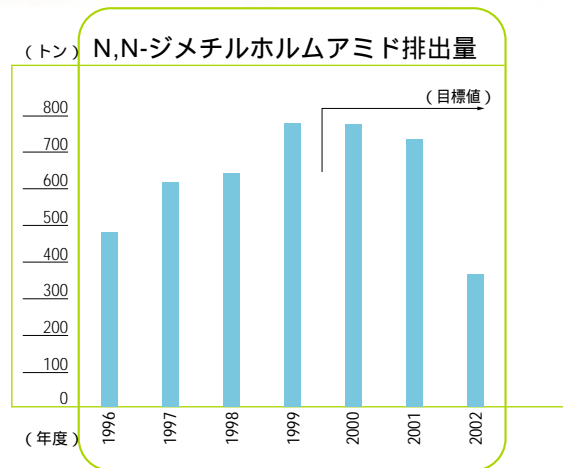
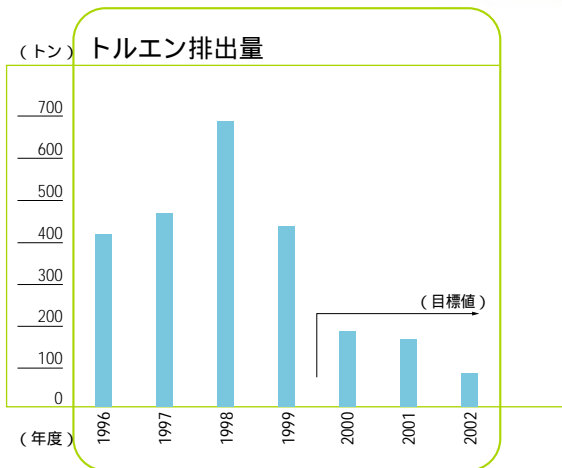
また、輸出される製品の場合は、現地法との関連を記載することと、現地語での発行にも努めています。

● イエローカード Yellow Card (緊急連絡カード)

輸送時における安全確保のため、製品の特性、取扱方法などを記載し、運転手が常時携帯しています。

● PRTR Pollutant Release and Transfer Register (環境汚染物質排出・移動登録)

1995年より、12種の有害大気汚染物質の排出について自主管理による調査・報告をしてきましたが、1996年からは日本化学工業協会の一員として、PRTRを実施しています。さらに1999年7月にPRTR法が制定されたことから、管理体制の強化、排出量の把握方法の精度向上、および自主的な排出量の削減を行っています。

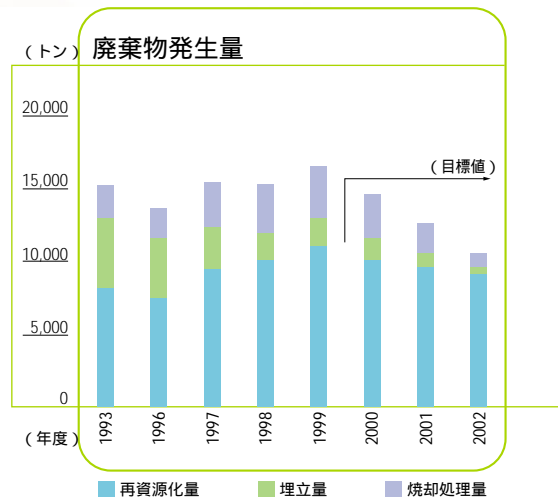


廃棄物削減・リサイクル

限りある資源の有効利用と深刻化する廃棄物問題に対応するために、国内外の全事業所において、廃棄物発生量の削減、再利用・再資源化を推進しています。

1992年にはリサイクルをさらに促進するために住ベリサイクル株式会社を設立し、リサイクル技術の研究や、副生成物の再利用の研究、当社およびユーザーでの廃棄物の回収や処理に至るシステムの構築に取り組んでいます。

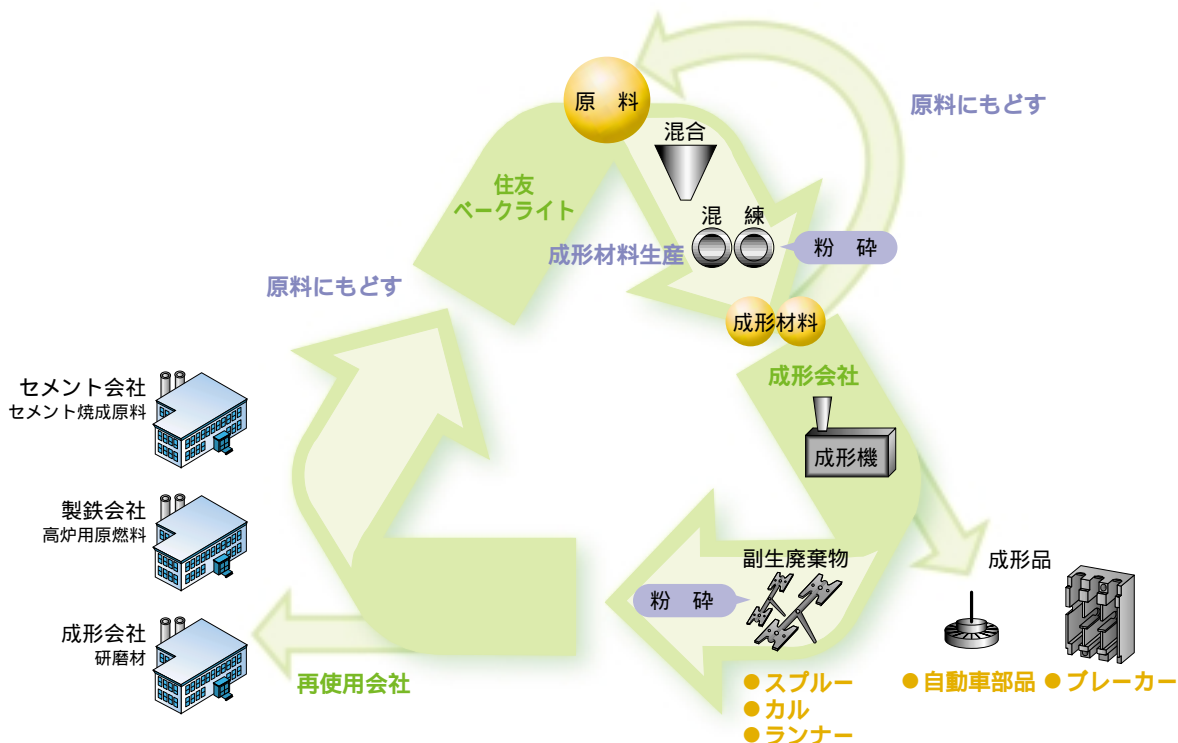
現在までのところ発生量の大幅な削減は実現していませんが、今後とも発生量の削減を第一とし、次いで埋立や焼却処理される廃棄物を限りなくゼロにすることをめざして活動していきます。



● フェノール樹脂成形材料のリサイクルシステム

成形材料生産時に発生する廃棄物のほかに、成形会社での成形時にスプルー、カル、ランナーという副生廃棄物が発生します。これらを細かく粉砕し再度成形原料に、また、粗く砕いてセメント会社でコークスの代替助燃材

に、さらには残渣の灰分をセメントの原材料にするなど、異業種での再利用を含めたマテリアルリサイクルのシステムを確立し、「リサイカブル・フェノール樹脂成形材料」としてリサイクルを促進しています。



省エネルギー

地球温暖化防止および資源保護の観点から、省エネルギーの必要性が全世界的に求められているなか、住友ベークライトは企業市民としての大きな責任を自覚して1993年度より積極的に取り組んでいます。

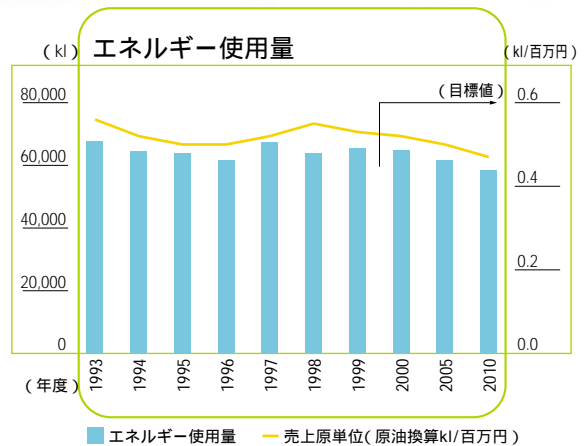
現在は2000年度までにエネルギー原単位を1996年度比10%削減する目標を新たに設定し、以下の項目を3本柱として、さらなる省エネルギーを推進しています。

- ① 全員参加の「ムダ防止」
- ② プロセスの見直しによる「省エネルギー生産の推進」
- ③ 新しい省エネルギー技術の採用および製法の転換

1997年以降、エネルギー使用量は横ばいで推移していますが、1999年度実績は、売上原単位で前年度比3%削減しています。毎年、環境対策投資として省エネルギー対策にも継続的に投資しており、その推移は右のグラフのとおりです。1999年度に実施した主な省エネルギー対策は、次のとおりです。

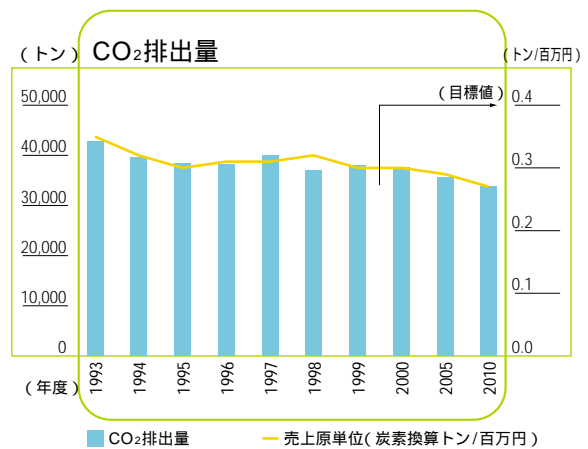
- ① 塗布機排熱回収
- ② 空気圧縮機の効率運転
- ③ ボイラーの酸素濃度最適化 など

将来目標については、排熱回収、省エネプロセスへの転換、およびコジェネレーションの採用などを積極的に進めて、国および業界団体の目標値の達成をめざします。



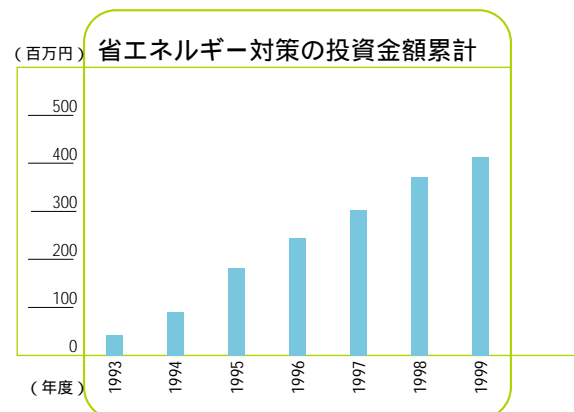
注 エネルギー使用量の原油換算値

A重油	原油1.01kl/1kl	灯油	原油0.96kl/1kl
C重油	原油1.06kl/1kl	購入電力	原油2.65kl/電力1万kWh



注 CO₂排出量の炭素換算値

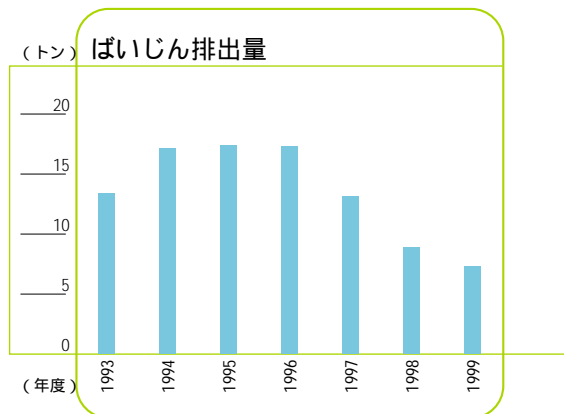
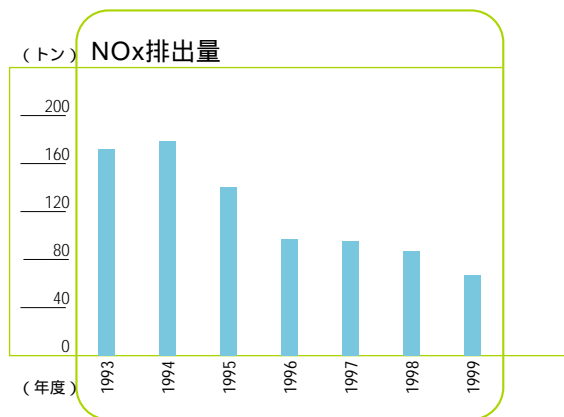
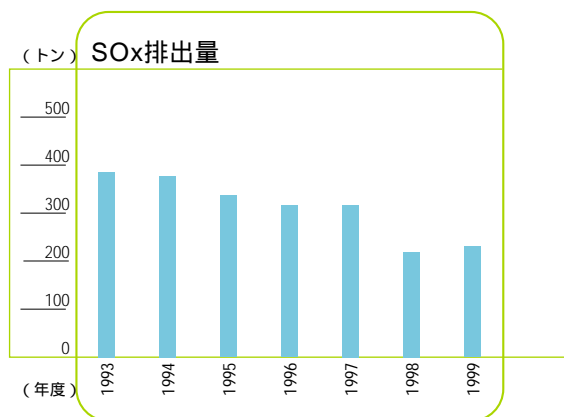
A重油	736kg炭素/重油kl	灯油	690kg炭素/灯油kl
C重油	802kg炭素/重油kl	購入電力	0.104kg炭素/電力kWh



大気汚染・水質汚濁防止

● ばい煙量

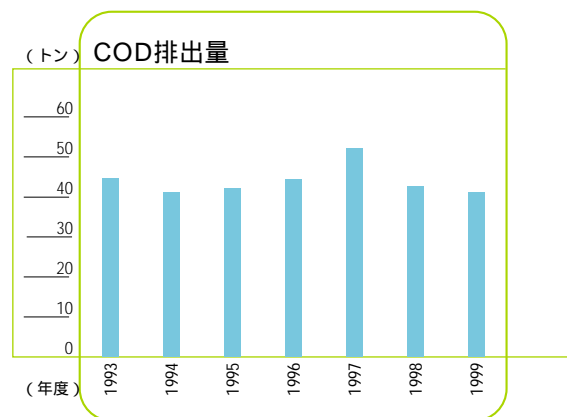
ボイラーを主としたばい煙発生施設から排出されるSOx等のばい煙量は着実に減少傾向を示しています。今後もこの状態を維持・向上させるため、燃料の選定および適正な燃焼条件の確保に努めます。



● COD排出

住友ベークライトでは生產品目の関係で、フェノール、ホルマリンおよび各種の溶剤などを多量に取り扱っています。こうした化学物質による水質汚濁を防止するため、総合排水対策には「クローズドシステム」を基本として、以下の処理施設を設置するとともに監視装置による常時監視体制を確立し、地域社会との公害防止協定を順守しています。

- ① 高精度フェノール回収装置
- ② 活性汚泥装置
- ③ 中和凝集沈殿装置(金属処理)



排水の水質監視装置

環境対応製品・技術 の開発

住友ベークライトは、樹脂分野を中心に長年にわたり培ってきた技術力を活かして、環境の保全に役立つさまざまな製品および技術を開発し、提供しています。

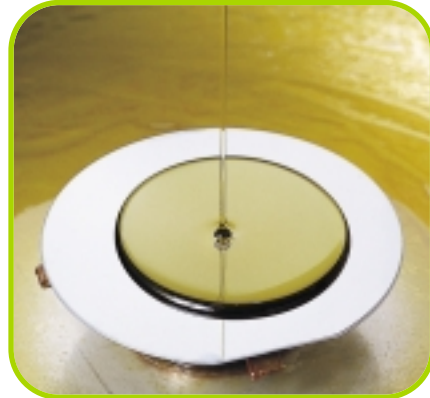


「スミコンEME」

● 半導体用成形材料「スミコンEME」

世界のトップメーカーとして、多くの半導体メーカーに半導体封止用エポキシ樹脂成形材料を供給しています。樹脂、充填剤、難燃剤などの組成の研究により、難燃特性は維持し信頼性の優れたハロゲン、アンチモンフリーの低圧封入成形材料を開発し、販売しています。さらに、難燃剤フリーについても開発しています。

● グリーンラミネート「スミライトPLC、ELC、APL」
TVやVTRの電気回路用銅張積層板として、樹脂、充填剤、難燃剤の研究により、ハロゲンフリーの環境対応型積層板(グリーンラミネート)として、フェノール系のPLC、エポキシ系のELCを開発し、販売しています。また、環境対応型のビルドアップ多層用銅箔付き絶縁シート(APL)も開発し、販売しています。



「スミレジンエクセルCRC」

● 溶剤を用いないウェハーコート材 「スミレジンエクセルCRC」

半導体メモリー容量の急激な増加や高速対応の要求から回路幅は狭くなり、かつ信頼性の厳しい要求に対応するために、ポジ型感光性ウェハーコート樹脂「スミレジンエクセルCRC8000シリーズ」を開発し、販売しています。これにより、現像液はアルカリ水溶液、洗浄液は純水の利用が可能になり、半導体メーカーでは特殊な溶剤の使用が不要になりました。

● パリレスフェノール樹脂成形材料「スミコンPM」
フェノール樹脂成形材料による成形では、バリが出るという欠点がありました。住友ベークライトは、バリなど成形時の副生物が発生しない成形材料の開発に加え、金型の開発、ユーザーでの成形条件などを含めた全成形技術の研究により、スプル-やランナーといった廃棄物の最小化や、成形サイクルの30～40%削減を可能としています。

社会との コミュニケーション

地域のクリーン化ボランティア活動、環境フェアや合同防災訓練など、各種行事への積極的な参加、また、工場見学会、設備設置計画時の説明会などを通し、これからも地域の皆様に信頼される企業として、地域と一体となって環境・安全に取り組んでいきます。

地元中学生の職場体験

静岡工場では、地元中学校の教育の一環として行われる職場体験学習の場として、毎年、数名の実習生を受け入れています。



盆踊り大会を毎年開催

毎年恒例の納涼盆踊り大会を静岡工場敷地内で開催し、地元住民の皆様との交流の場となっています。



地域環境保全活動への参加

地元企業、行政との環境保全協議会においてリーダーとして環境講演会を開催しました。



防災訓練への参加

地域の地震防災訓練に尼崎工場の自衛防災隊メンバーが参加し、ポンプ操法および放水訓練を行いました。



地元のお祭りへの参加

関係会社においても地元夏祭りに参加して住民との友好、親睦を図っています。



環境保護ランニング大会に参加

マレーシアのジョホールバルで、学校の植樹事業支援のための「環境保護ランニング大会」が開催され、当社の関係会社「SNCインダストリアル・ラミネイツ」の従業員も参加しています。



ケナフの栽培

炭酸ガスの吸収量が大いことから、環境に優しいと言われている一年草のケナフを、全事業所にて、試験的に植えています。その栽培を機会に、地域のケナフ栽培愛好者と交流し、ケナフ紙の紙すきやケナフを用いた料理の試食会なども行っています。さらにケナフの粉末を成形材料の充填剤に利用することも研究しています。

住友ベークライト グループ

国内関係会社

住友デュレス株式会社

☎ 03-5462-4843
〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8
天王洲パークサイドビル

秋田住友ベーク株式会社

☎ 0188-45-1181
〒011-8510 秋田県秋田市土崎港相染町
字中島下27-4

筒中プラスチック工業株式会社

☎ 06-6229-5000
〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町3-5-11

アートライト工業株式会社

☎ 0848-62-3157
〒723-0065 広島県三原市西野町905

東京化工品株式会社

☎ 0495-77-4601
〒367-0241 埼玉県児玉郡神川町元原300-2

北海海洋プラスチック株式会社

☎ 0133-64-6611
〒061-3242 北海道石狩市新港中央2-763-7

日本電解株式会社

☎ 03-5802-1561
〒113-0033 東京都文京区本郷4-9-25

佐野プラスチック株式会社

☎ 0283-22-6133
〒327-0845 栃木県佐野市久保町213

大友化成株式会社

☎ 0877-23-1111
〒763-0054 香川県丸亀市中津町1515

山六化成工業株式会社

☎ 0729-77-3321
〒582-0020 大阪府柏原市片山町19-10

九州ベークライト工業株式会社

☎ 09492-3-1911
〒822-0006 福岡県直方市大字上境字水町40-1

姫路接着剤工業株式会社

☎ 0792-34-1999
〒672-8076 兵庫県姫路市飾磨区入船町1-2

日本通信電材株式会社

☎ 0568-73-3400
〒485-0022 愛知県小牧市大字北外山入鹿
新田1300

宮城電子株式会社

☎ 044-945-2028
〒214-0001 神奈川県川崎市多摩区菅1-2-31

株式会社エス・ピー・ディー

☎ 045-811-1661
〒245-0052 神奈川県横浜市戸塚区秋葉町495

エスティー・フィルムシート株式会社

☎ 06-6429-1725
〒661-6011 兵庫県尼崎市塚塚口町2-3-47

アプロ株式会社

☎ 03-5441-4748
〒108-0014 東京都港区芝4-1-23

株式会社サンベーク

☎ 03-3592-4168
〒100-6009 東京都千代田区霞が関3-2-5

住ベデコラ建材株式会社

☎ 03-5462-4170
〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8
天王洲パークサイドビル

住ベサービス株式会社

☎ 03-5462-4853
〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8
天王洲パークサイドビル

住ベテクノリサーチ株式会社

☎ 045-813-1641
〒245-0052 神奈川県横浜市戸塚区秋葉町495

住ベメディカルケア株式会社

☎ 03-5462-4858
〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8
天王洲パークサイドビル

住ベ情報システム株式会社

☎ 03-5462-4867
〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8
天王洲パークサイドビル

住ベリサイクル株式会社

☎ 054-635-6445
〒426-0041 静岡県藤枝市高柳2100

株式会社住ベ生産技術研究所

☎ 078-992-3903
〒651-2241 兵庫県神戸市西区室谷1-1-5

海外関係会社

P.T.パモライト・アドヘッシブ・ インダストリー

59, J.L. M. H. Thamrin, Jakarta, INDONESIA
Tel. 62-21-330775/Fax. 62-21-327582

スミトモ・プラスチック・アメリカ Inc.

900, Lafayette Street, Suite 510, Santa
Clara, CA, 95050, USA
Tel. 1-408-243-8402/Fax. 1-408-243-8405

CMKシンガポール Pte. Ltd.

502, Chai Chee Lane, Singapore 1646,
SINGAPORE

スミトモ・ベークライト・シンガポール Pte. Ltd.

1, Senoko South Rd., Singapore 758069,
SINGAPORE

スミトモ・ベークライト・ヨーロッパ B.V.

New Amsterdam Building, Hoekenrode 2,
1102 BR Amsterdam, THE NETHERLANDS
Tel. 31-20-6911086/Fax. 31-20-6910691

CMKヨーロッパ N.V.

Nijverheidsstraat 18 B-2260 Westerlo-Oevel,
Belgium
Tel. 014-224666/Fax. 014-224665

スミヤリア・シンガポール Pte. Ltd.

72, Senoko Drive, Singapore 758240,
SINGAPORE

スミヤリア・ジャバ

59, J.L. M. H. Thamrin, Jakarta, INDONESIA
Tel. 62-21-3914010/Fax. 62-21-3914012

住工股份有限公司

中華民國臺灣省臺北市松江路301號8樓之4
Tel. 886-2-502-0220/Fax. 886-2-501-8018

スミデュレス・シンガポール Pte. Ltd.

9, Tanjong Penjuru Crescent, Jurong
Industrial Park, Singapore 608972,
SINGAPORE

SNCインダストリアル・ラミネイツ Sdn. Bhd.

PL0 38, Jalan Keluli Satu, Pasir Gudang
Industrial Estate, 81700 Pasir Gudang,
Johor, MALAYSIA

CMKS (マレーシア) Sdn. Bhd.

PL0 436, Jalan Gangsa, Pasir Gudang
Industrial Estate, 81700 Pasir Gudang,
Johor, MALAYSIA

P.T. CMKSインドネシア

EJIP Industrial Park Plot No. 7E Lemahabang,
Bekasi 17550 Jawa-Barat, INDONESIA
Tel. 021-8970230/Fax. 021-8970231

P.T. CMKSインドネシア

EJIP Industrial Park Plot No. 7E Lemahabang,
Bekasi 17550 Jawa-Barat, INDONESIA
Tel. 021-8970230/Fax. 021-8970231

P.T. インドフェリン・ジャバ

59, J.L. M. H. Thamrin, Jakarta, INDONESIA
Tel. 62-21-3914010/Fax. 62-21-3914012

苏州住友電木有限公司

140 Jinji hu Road, Start-up Area, China-
Singapore Suzhou Industrial Park, Suzhou,
China

Tel. 0086-512-7613850/Fax. 0086-512-
7630053

スミデュレス・カナダG.P.

100 Dunlop Street, P.O. Box 100 Fort Erie,
Ontario 12A 5M6, CANADA

Tel. 905-871-3206/Fax. 905-871-7979

SBフレックス・フィリピンズ

Lot 6B, Phase 1-A First Philippine Industrial
Park Barangay Sta.

Anastasia, Sto. Tomas, Batangas, Philippines
Tel. 63-43-405-5014/Fax. 63-43-405-5010

台湾住友培科股份有限公司

中華民國臺灣省高雄縣大寮鄉831大發工業區華西路1號
Tel. 886-7-787-1285/Fax. 886-7-787-1239

倍克精密塑料(上海)有限公司

No 66, Ai Du Road, Waigaoqiao Free Trade
Zone, Pudong, Shanghai, China Post Code:
200131

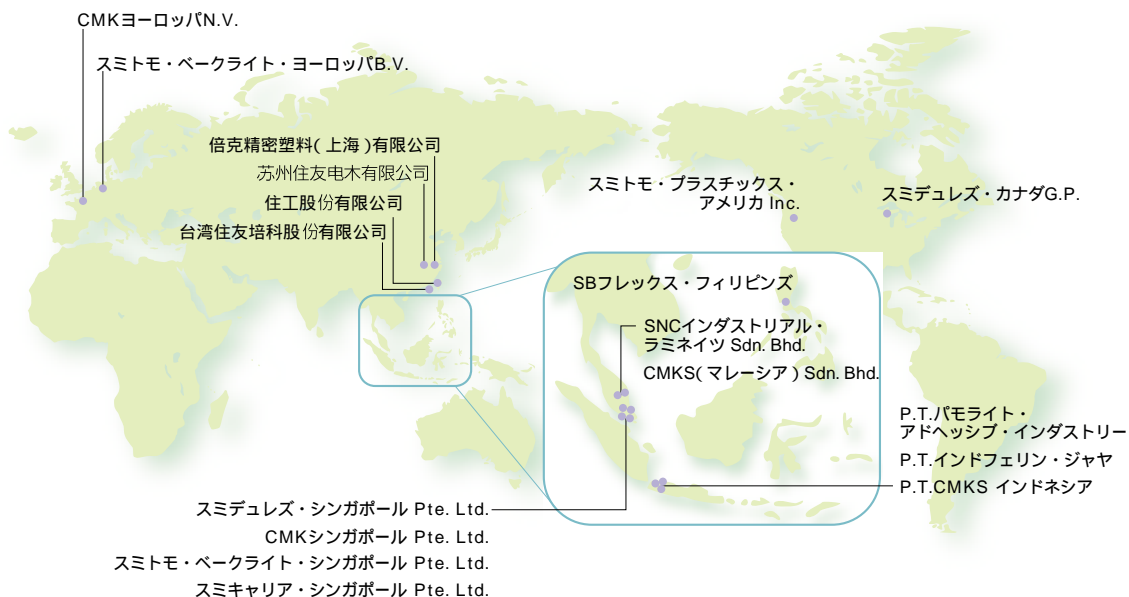
Tel. 86-21-5046-0091/Fax. 86-21-5046-0801

コーポレート・データ

2000年3月31日現在

コーポレート・データ

● 社名 住友ベークライト株式会社	本社 〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル ☎ 03-5462-4111(代)	尼崎工場 〒661-8588 兵庫県尼崎市東塚口町二丁目3番47号 ☎ 06-6429-6941(代) FAX. 06-6427-8055
● 設立 1932年(昭和7年)1月25日	基礎研究所 〒245-0052 神奈川県横浜市戸塚区秋葉町495番地 ☎ 045-811-1661(代) FAX. 045-812-4898	静岡工場 〒426-0041 静岡県藤枝市高柳2100番地 ☎ 054-635-2420(代) FAX. 054-636-0294
● 代表取締役社長 守谷 恒夫	神戸基礎研究所 〒651-2241 兵庫県神戸市西区室谷一丁目1番地の5 ☎ 078-992-3900(代) FAX. 078-992-3919	宇都宮工場 〒321-3231 栃木県宇都宮市清原工業団地 20番地の7 ☎ 028-667-6211(代) FAX. 028-667-5519
● 売上高 1,245億円(単独) 1,927億円(連結)	大阪事務所 〒661-8588 兵庫県尼崎市東塚口町二丁目3番47号 ☎ 06-6429-6941(代) FAX. 06-6427-8055	津工場 〒514-0819 三重県津市高茶屋五丁目7番1号 ☎ 059-234-2181(代) FAX. 059-234-8728
● 資本金 267億円	名古屋事務所 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦三丁目15番15号 ☎ 052-955-3521(代) FAX. 052-955-3526	
● 株主数 14,934名		
● 従業員数 2,179名		



住友ベークライト株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8(天王洲パークサイドビル)

お問い合わせ先：環境保安・再資源化対策部

TEL:(03)5462-3471 FAX:(03)5462-4873



レスポンシブル・ケア



この冊子は地球環境保護のため、
ケナフ100%の非木材紙を使用しています。

発行：2000年9月
Printed in Japan